

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

第 28 回文法研究ワークショップ

「音節にまつわる諸問題」

開催のお知らせ・参加者募集

本ワークショップでは、様々な言語において音節がどのような特徴を持っており、どのような役割を果たしているのか、また通言語的に音節とはどのようなものだと言えるのかを議論します。

音節は、様々な言語現象において重要な役割を果たす音声・音韻的単位であることが知られています。一方で、音節がどのような現象においてどのような役割を果たすかについては、言語間で差異が認められます。また、音節自体の特徴や位置づけも、言語によって大きく異なるものであると考えられます。

以上を背景に、本ワークショップでは若手研究者が中心となり、様々な言語の音節にまつわる問題について発表・議論を行うことで、各言語の音節の特徴や役割について理解を深めます。また、それらの議論を総合し、音節とは通言語的にどのようなものだと言えるのかを考えます。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2026年2月7日（土）13:30-17:55
2. 場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）マルチメディア会議室（304）+Zoom会議室

※Zoom会議室のURLは、開催日前日までに参加者にメールにて連絡します。

3. プログラム：

13:30-13:40 植田尚樹（AA研所員）

趣旨説明

13:45-14:30 陳凱僑（神戸大学大学院）

「中国語諸方言の音節：音韻的・形態統語的振る舞いの多様性に注目して」

14:35-15:20 松宮いづみ（日本女子大学大学院）

「日本語研究のこれまでとこれから」

15:20-15:40 休憩

15:40-16:25 蔵満啓太（大阪大学大学院）

「ロマンス諸語におけるアクセント付与と子音クラスターのあつかいに関する言語間差異—スペイン語とカタルーニャ語の事例比較および音韻分析の可能性—」

16:30-17:15 春田勇輝（東京外国語大学大学院）  
「バーリン・モンゴル語アルホルチン方言の音節構造について」  
17:15-17:25 休憩  
17:25-17:55 全体討論  
　　コメンテーター：高城隆一（富山大学）

4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生

※大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください。

5. 定員：対面 20 名程度（オンライン参加に関しては上限なし）

6. 参加申込方法：

下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。

なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。

<https://forms.gle/Tuy6xm6J986hD2Vm6>



7. 申込締切：2026年2月5日（木）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）

8. 問い合わせ先：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 植田尚樹

メール：[ueta\\_naoki\[at\]aa.tufts.ac.jp](mailto:ueta_naoki[at]aa.tufts.ac.jp) ([at]を@に変えて送信してください)

9. その他：

- ・ワークショップは日本語でおこないます。
- ・参加は無料です。
- ・ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※ 文法研究ワークショップは、諸言語の文法現象の分析、文法の記述、通言語的比較・対照をする上での諸問題に焦点を当てて企画されるものです。学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことも目的としています。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.aa.tufts.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws>

主催： 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究（言語学）「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」